



THE REPORT OF THE MIE DENTAL ASSOCIATION



◆ 第2回医科・歯科合同研修会

「口腔と全身との関わり」

「全身疾患のリスクファクターとしての歯周病」

◆ 18年度第1回医療管理講習会

「歯科医療を安心・安全に行うために」

「患者情報の把握と評価」



三重県 歯科医師会 報



公益社団法人
三重県歯科医師会
<http://www.dental-mie.or.jp/>

2019



No. 696

第2回医科・歯科合同研修会	1
2018年度第1回医療管理講習会	5
大規模災害時の対応及び歯科所見からの身元確認研修／津南警察署で実施	10
スポーツ歯科PTが初会合／岩手県歯・鈴木常務理事がレクチャー	10
第6回全国共通がん医科歯科連携講習会	11
2018年度第9回理事会 (歯科衛生士需給対策について意見交換)	12
2018年度第5回郡市会長会議 (妊婦歯科健診等に係る請願の採択を報告)	14
2018年度第10回理事会 (スポーツ歯科PT等から報告)	18
医療管理 (・ 法務局における自筆証書遺言の保管制度の創設) (・ 2019年度歯科助手講習会について)	20
<hr/>	
12月・1月会務日誌	22
会員消息	24
告知板 (第74回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会のご案内)	25
互助会の現況	26
国保組合の現況	27
編集後記	28

第2回

医科・歯科合同研修会

2018年11月18日（日）

三重県医師会館

11月18日（日）、津市桜橋の三重県医師会館で三重県医師会・三重県歯科医師会の共催による医科・歯科合同研修会が開かれた。医科歯科連携の推進が社会的要請となる中、三重県の県医及び県歯はこれまでも様々な場面で協調を図ってきたが、今後は開業医レベルで一層緊密な連携を図ることが必要との認識から両会合同での研修会が提案され、昨年度からスタートしたもの。2回目となる今回は、東京医科歯科大学の和泉雄一名誉教授が「口腔と全身との関わり～全身疾患のリスクファクターとしての歯周病～」と題して講演。主に医師に向けて歯周病の病態と治療方法を簡単に紹介するとともに、循環器系疾患・糖尿病・早産及び低体重児出産と歯周病の関わりについて、動物実験モデルや臨床研究等、多くのエビデンスを元に解説した。会場は180名を超える聴衆で埋まり、質疑応答では、妊婦における歯周病のリスクや、地域での医科歯科連携の方法等について意見が交わされ、継続的な医科と歯科の連携が必要であることが改めて確認された。

（学術委員・林 竜一郎 記）

口腔と全身との関わり

～全身疾患のリスクファクターとしての歯周病～

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科
歯周病学分野・和泉雄一名誉教授



会（AAP）が2017年にシカゴで開いた合同ワークショップで約20年ぶりとなる歯周病の分類の改訂が行われ、翌年6月にアムステルダムで開かれたEuroPerio 9で公表された。新分類の特徴は、慢性歯周炎と侵襲性歯周炎を区分せず、一括して歯周炎として取り扱うこととなったこと（侵襲性歯周炎のエビデンスが不足しているため）。それに代わり、がんの分類などに近いstageとgradeによる分類が採用されている。

歯周病の細菌学的病因論は、この半世紀の間に様々な変遷を経てきた。1950年代には非特異細菌説が採られていたが、70～80年代に特異的細菌説

歯周病の分類と細菌学的病因論の変遷

ヨーロッパ歯周病学会（EFP）と米国歯周病学

が主流となり、90年代にはRed complexと呼ばれるPg菌・Td菌・Tf菌が重症な歯周病を引き起こす菌種群であるとされていた。

21世紀に入ってから、ある特定の細菌が細菌叢を爆発的に悪化させるというキーストーン病原体仮説が提唱され、現在では細菌叢の構成異常が歯周病を引き起こすという考え方が一般的になっている。

歯周病は歯に付着するプラーク中の細菌やその代謝産物と生体防御系細胞との相互作用の結果、炎症反応や免疫反応を経て、歯肉の炎症や歯槽骨の吸収等の臨床症状が発現するが、歯周病のリスクファクターとしての環境因子（喫煙、食生活、ストレス等）と生体因子（遺伝子多型、好中球、サイトカイン等）が修飾因子となることにより、多様な病態を呈し重症化に至ると考えられている（図1）。

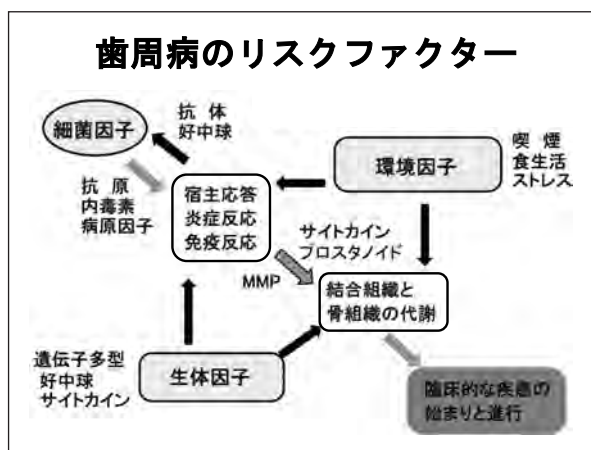


図1

■ 歯周病と循環器系疾患の関連

歯周病の特徴としては歯周ポケットの形成が挙げられる。歯周ポケットの内面には微小潰瘍が生じ、その面積は55～72cm²（手のひら大）に達する。こうした広い潰瘍面の存在を考えれば、歯周病が全身に与えるリスクの大きさも理解されるだろう。歯周病は、口腔内に軽微な慢性炎症（Chronic subclinical inflammation）が存在する状態と捉えられる。体内に炎症が起きると血液中にC反応性タンパク（CRP）が現れる。全身疾患のない歯周病患者では健常者に比べ血清中の

CRPレベルが上昇するが、その結果として糖尿病や心臓血管疾患のリスクが上昇する。

重度の歯周病の場合、ブラッシングを行っただけでもその直後には菌血症が発生する。これが動脈硬化を引き起こす場合がある。また、歯周病によるサイトカインやLPSの増加により形成された血栓が心筋梗塞や狭心症等の虚血性心疾患の発症に繋がることもある。末梢動脈疾患のロジスティック回帰分析では、喫煙や糖尿病よりも歯周炎との関連性が高い可能性がうかがわれる結果となっている（図2）。

末梢動脈疾患のロジスティック回帰分析		
従属変数: 末梢動脈疾患		
独立変数	オッズ比 (95% CI)	P値
歯周炎	5.45 (1.57-18.89)	0.007*
喫煙	0.75 (0.13-4.43)	0.754
年齢	0.99 (0.94-1.05)	0.813
性別	1.65 (0.18-15.61)	0.661
糖尿病	0.18 (0.03-1.12)	0.065

95% CI: 95% confidence interval
*P<0.05 represents significant difference
(Yi-Wen Chen et al, Eur J Vasc Endovasc Surg, 2008,)

図2

歯周病と血管の疾患の関係を如実に表すものとしてバージャー病が挙げられる。バージャー病は20～40歳を中心に発症し、進行すると手足の切断に至る難治性の閉塞性血栓血管炎であり、喫煙が関与していることが知られている。バージャー病患者の閉塞した動脈を調べたところ、歯周病菌が検出されている。

以上のように、歯周病が循環器系疾患の発症又は増悪に関与していることを示唆する研究結果は数多く認められているが、歯周病の治療はそうした疾患のリスクを下げるができるのだろうか。

ランダム化比較試験で、歯周治療後に血管内皮細胞機能や炎症マーカーの改善を認めたとの報告は複数あるものの、現時点では明確な結論は得られていない。歯周病と循環器系疾患をつなぐメカニズムは明らかになりつつあるので、今後、基礎研究の知見に基づいた大規模な臨床研究が必要である。

■ 歯周病と糖尿病の関係

糖尿病患者では歯肉炎から辺縁性歯周炎に移行しやすく、重度にまで進行していることも少なくない。根面う蝕も頻発し根尖性歯周炎に至ることもある。その原因は唾液の自浄作用低下によるプラークの蓄積と、免疫能の低下及び宿主の代謝の変化が考えられ、インプラントの成功率低下にも繋がる。歯周病と糖尿病はいずれも60歳以上で急激に罹患者が増加する傾向にあり、相関関係があることは想像に難くない。両者の関係については、①疫学的調査 ②メカニズムの検討 ③介入試験一等によるエビデンスの確立が求められる。

1993年にアメリカで行われた疫学調査により、糖尿病患者では全ての年齢層で歯周組織のアタッチメントロスが大きいたことが明らかにされ、現在は歯周病が糖尿病の6番目の合併症であるとされている。本邦でも8020推進財団等の研究で歯周病と糖尿病の関係を示す疫学的研究が積み重ねられた。

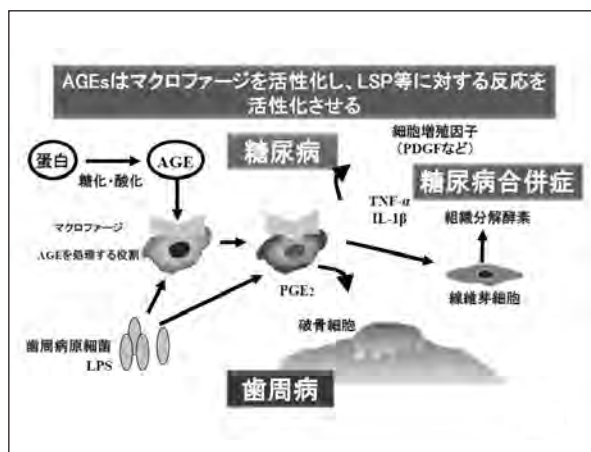


図3

歯周病と糖尿病が関連するメカニズムとしては様々なファクターが検証されている。近年注目されているものとしてAGE（advanced glycation end products：最終糖化産物）がある。糖尿病ではAGEが高くなり、マクロファージと結合して活性化することによりTNF- α やIL-1 β 等のサイトカインを産生して合併症を引き起こす。一方、歯周病原細菌が放出する内毒素もマクロファージを活性化させ、これが破骨細胞の活性化に繋がる

(図3)。従ってAGEが糖尿病及び歯周病の悪化に関与している可能性が示唆されることになるが、2000年にコロンビア大学のLallaらがAGE受容体を阻害することにより骨吸収を抑制できることを明らかにしてこれを証明した。

14年には東京医科歯科大学の水谷らが肥満によるインスリン抵抗性モデル動物（ラット）を用いて、歯肉におけるインスリン抵抗性の発現を確認した。歯肉の中で血管内皮細胞機能や骨芽細胞の機能が低下していることが、歯周組織の破壊進行や創傷治癒遅延に関与している可能性がある。

こうした基礎的な研究から、糖尿病の場合には高血糖に伴う虚血状態やAGEの増加、細胞機能の低下が生じるため、歯周病原細菌に感染しやすくなるとともにマクロファージの活性化等により歯周病が進行しやすくなることが分かってきた。その結果、局所の炎症性物質が増加してインスリン抵抗性が上昇する悪循環が成立する(図4)。

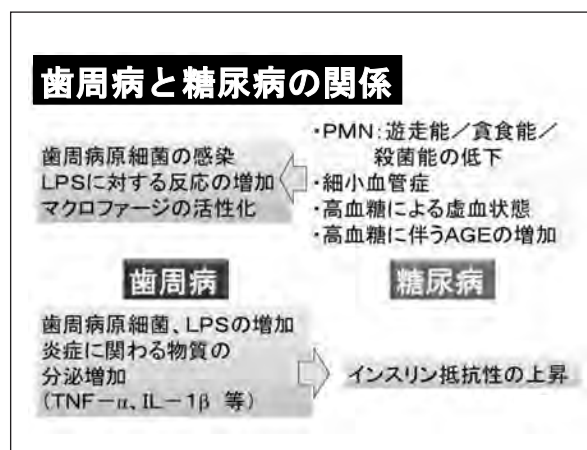


図4

次いで必要になるのが介入試験である。歯周治療が糖尿病の改善に影響するか、または糖尿病治療が歯周炎の改善につながるかを探らなければならない。

09年から同じく東京医科歯科大学の片桐らが多施設介入試験に着手している。歯周治療介入研究では、歯周治療を行うことにより抗菌薬の局所投与を併用した歯周治療を行ったところ血清中のCRPレベルの減少に伴ってHbA1cが減少した。糖尿病治療介入研究では、HbA1c減少群でBOPの減少が確認できた。



10年に発表された歯周治療が糖尿病患者血糖コントロールに与える影響を調べたメタ解析では、「歯周治療は少なくとも3か月間、血糖コントロールを改善する」と結論付けている。

一方、13年にはJAMA (The Journal of the American Medical Association: 米国医師会雑誌) に「非外科的歯周治療は中等度から重度の歯周病に罹患している2型糖尿病患者の血糖管理を改善することができなかった。この結果はHbA1cを改善する目的で糖尿病患者に歯周治療を行うことを推奨するものではない」とする論文が掲載された。これに対して世界中の歯周病の専門家がこの論文を精査して、いくつかの問題点を指摘したうえで反論している。

■ 歯周病と早産・低体重児出産

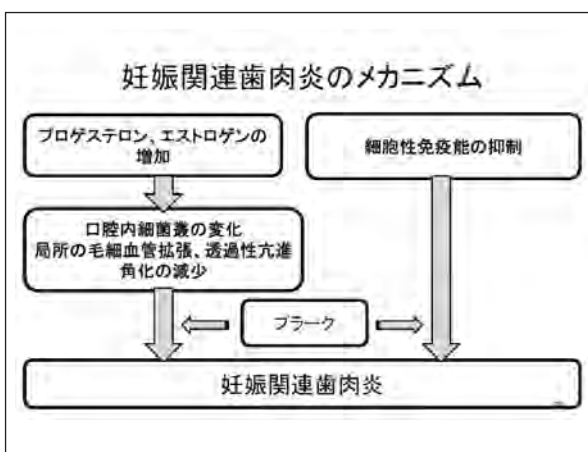


図5

妊娠中に特有な歯科疾患として妊娠関連歯肉炎が知られてきた。女性ホルモンであるエストロゲ

ンとプロゲステロンの増加により口腔内細菌叢が変化し、局所の毛細血管拡張と透過性の亢進及び角化の減少、細胞性免疫能の抑制が起きているところにプラークが加わって歯肉炎が生じる(図5)。これについては口腔清掃によって改善が可能である。

現在、我が国では出生数が低下する一方で早産及び低体重児出産が増加しており、この背景には出産年齢の高齢化があると指摘できる。これに伴い、妊婦の歯周病リスクも上昇している。

1996年に初めて歯周病と早産・低体重児出産との関連が報告された。その疫学的研究によれば、アタッチメントレベルが3mm以上の妊婦では早産・低体重児出産の発現率が高かったという。

歯周病が出産に影響するメカニズムはまだ解明されていないが、歯周病が原因となって産生された炎症性物質等が血行性により子宮や胎盤等の産科関連器官に影響する可能性等が考えられている。

2002年にチリで行われた介入試験では、歯周治療を行った場合、対照群に比べて早産・低体重児出産が有意に少なかったと報告されているが、歯周治療にそうした効果は認められなかったとする報告もある。その他の研究でも、歯周病の程度によって治療効果が異なることもあり、明確な結論は出ていないのが現状である。

■ おわりに

歯周病は学童期から始まっているが、知らずに放置しておくと壮年期・中年期に歯周病の罹患率が高くなり、重症化することによって高齢期に歯を喪失する原因となる。壮年期・中年期には、循環器系疾患や糖尿病等の生活習慣病の罹患率が上昇し、健康を阻害する大きな要因となる。

今後、歯周病の予防・治療・管理が口腔の健康、強いては全身の健康管理につながる第一歩であるという認識を持って、積極的に対処することが重要である。

2018年度

第1回医療管理講習会

2018年12月9日（日）

三重県歯科医師会館

12月9日（日）、18年度第1回医療管理講習会が日本歯科麻酔学会との共催によるバイタルサインセミナーとして開かれた。三重県では3年ぶり4回目となる今回は、同セミナーの発案者でもある望月 亮氏（静岡県開業）と、学会地域医療委員で愛知学院大学歯学部麻酔学講座講師の城 尚子氏がタッグを組んで「歯科医療を安心・安全に行うために～患者情報の把握と評価～」と題して講演。前半は歯科治療時の患者のモニタリングについて、脈拍・呼吸・血圧等、測定項目ごとの注意点を示し、他にも診療所でできる工夫やモニタリングの実際を紹介。緊急事態時の行動手順やBLS及び救急薬剤、医療事故調査制度にも言及された。後半は「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所」の施設基準に含まれる「歯科疾患の重症化予防に関する継続的な管理」に重点を置いた内容で、初期う蝕管理や歯周病安定期治療にも触れたうえで、高齢者の心身特性に関して心房細動や骨粗鬆症、認知症等に焦点を当てて解説。地域包括ケアシステムの中で、歯科医師が地域共生社会実現に向けて果たすべき役割についても詳述した。講演終了後には、早川副会長が座長を務め、2名の講師に三重県歯・医療管理委員会から飯田 務氏も加わってフロアからの質問に答える形で総合討論が行われ、局所麻酔剤の使い分けや臨床でのモニタリング実施の頻度、いわゆる歯科治療恐怖症患者への対応等、幅広い内容について意見が交わされた。

（医療管理委員・井上健三 記）

歯科医療を安心・安全に行うために～患者情報の把握と評価～

望月 亮氏（静岡県開業・日本歯科麻酔学会広報委員長）

城 尚子氏（愛知学院大学歯学部麻酔学講座講師・日本歯科麻酔学会地域医療委員）



■ モニタリング

モニタリングとは、状態を監視すること、状態を把握するために観測や測定を行うことであり、モニタリングによってバイタルサイン＝生きている徴候を測定する。バイタルサインとは、①脈拍 ②呼吸 ③血圧 ④体温 ⑤意識—の5項目をいう。

脈拍とは、心臓の拍動に基づいて体表から触れることができる動脈の拍動である。従って、心拍数と脈拍数は別の事柄を指すが、その値はほぼ同

じになる。脈拍の主な触知部位は総頸動脈・橈骨動脈・大腿動脈・上腕動脈等がある。触診による脈拍測定で脈が触れる下限値は部位により異なる（橈骨動脈で80mmHg、総頸動脈で60mmHg）ため、BLS（Basic Life Support：一次救命処置）の際には、血圧が低下していても触知が可能な総頸動脈で脈拍の有無を確認する。

呼吸とは、主に外気から酸素を体内の細胞に取り込み、燃焼して生じた二酸化炭素を体外に排泄するシステムを指す。モニタリングのポイントは、呼吸の速さや深さ、胸（胸郭）の動き等を目で見て観察することである。機器としては動脈血酸素飽和度（SpO₂）を測定するとともに、脈拍数（＝心拍数）もモニタリングできるパルスオキシメーターが有用である。安価なものも流通しているが、数値を記録できるものが望ましい。ただし、パルスオキシメーターは指先の血流が減少していたり、指先の温度が低かったりする場合には、測定値が不安定になるので注意を要する。

血圧とは血流が血管壁に及ぼす側圧のことで、心臓や血管の機能を表す。心臓が収縮した時の血圧が収縮期血圧（最高血圧）、心臓が次の血液を送り出すために拡張した時の血圧を拡張期血圧（最低血圧）と呼ぶ。測定のために巻くマンシェットは軽く指が2本入るくらいにする。ゆるく巻き過ぎると高く誤測定され、きつく巻き過ぎると低く誤測定される。

最高血圧と最低血圧の差を脈圧と呼ぶが、これは中枢の太い動脈の硬さをチェックする指標になる。正常範囲はおおよそ60で、これを大きく超えていると血管の動脈硬化が示唆される。一方、平均血圧は「拡張期血圧＋（収縮期血圧－拡張期血圧）÷3」で求められ、末梢の細い血管の硬さを知るための指標になる。

患者の異変に気付いたら、意識レベル・血圧・脈拍数等の全身状態を把握することが重要で、バイタルサインを記録するモニタリングを行うが、モニター機器に頼るだけでなく、人間の五感をフルに利用して異変を察知する能力も非常に大切になる。

■ 歯科治療における緊急事態

歯科治療の際の緊急事態として予想されるものは、①もともとあった病気が急に悪化する現疾患の急性増悪 ②薬物アレルギーが急激に進行するアナフィラキシーショック ③物を落としてそれが気管に詰まる異物誤飲・誤嚥—等がある。

現疾患の急性増悪により、急性心筋梗塞・脳出血・喘息発作・低血糖ショック等が起きた場合には、歯科診療所での対応は困難なので、速やかに救急車を依頼する。

アナフィラキシーショックはその頻度は高くないが、重篤な転帰に至る場合があるので注意を要する。歯科診療時にしばしば起きる血管迷走神経反射と初期症状が似ているので、この二つを正確に鑑別することが極めて重要になる（図1）。

	血管迷走神経反射	アナフィラキシー
発生率	きわめて多い	きわめて少ない
既往歴	経験者が7・8割	参考になる場合もある
状況	緊張・痛みを与えているとき、その直後	抗原に曝露
時期	麻酔中・直後 治療中・直後	曝露直後
症状	失神を起こす場合は早期に起こる	早期の失神はない 皮膚症状→呼吸器症状
経過	一過性・通常自力で回復	持続的にショック症状へ移行・自力回復はない

図1

血管迷走神経反射が起きたと思われる場合には、治療を中断し、誤嚥しそうなものを口腔内から取り出したうえで、血圧の低下に対処するために患者を横にして足を上げる（ショック体位）。モニター等を装着してバイタルサインを記録し、酸素があれば投与する。

アナフィラキシーショックでは、血管迷走神経反射のようにいきなり失神することはなく、先行して皮膚や粘膜等に症状が発現する。引き続き呼吸器系の症状が認められた場合にはアナフィラキシーショックである可能性が高い。詳しい診断基準については、日本医療安全調査機構公式ウェブサイトの「医療事故の再発防止に向けた提言」を

参照されたい。

行うべき処置は、①原因物質の除去 ②ショック体位 ③酸素投与 ④モニタリング等については血管迷走神経反射の場合と同じだが、アナフィラキシーショックが強く疑われる場合には、アドレナリン0.3mgを大腿部に筋肉注射する。この方法は有効かつ有害事象が起きる可能性は非常に少なく、簡便なエピペンの活用も推奨される。市販されているエピペンは簡便に使用でき推奨できるが、アンプルに比べ高価であることと使用期限が比較的短いのが欠点である。

インレー等を誤って飲み込ませてしまった場合、食道に入った誤飲であれば多くの場合、自然に排出される。気管に入ってしまう誤嚥については、反射が減弱している高齢者の場合、特に注意を要する。誤嚥した場合には、まずは摘出を試みる。万が一、気管の途中で物が詰まってしまい窒息を生じると、チョークサインといわれる自分の首を両手で押さえる行動が見られる。この場合には気管切開が必要になるので、それが可能になるまでは心マッサージ（胸骨圧迫）でつなぐことになる。

■ 緊急事態における行動手順

歯科診療所での緊急事態に取るべき行動のうち、まず行うべきは救急隊に伝える患者の客観的な状況を収集すること、すなわちバイタルサインを記録することである。次に一次救命処置として、心マッサージと人工呼吸及びAEDによる除細動を行う。役割分担をする場合には誰が何をするかを明確に指示することが重要だ。併せて事故発生時刻からその後起きたことは全て時系列で記録する。併行して救急車の要請を行う。救急車が到着するまでは平均して6分掛かる。その間にできることを確実に行う。

診療所では、緊急時の行動をなるべく単純化したうえで、常日頃からシミュレーションを行うと良い。必要な器材等がすぐに準備できるかどうかも確認しておく。緊急事態にならないための工夫が肝要だが、緊急時には起きた事態の重要性を評価しなければならず、そのためにもモニタリング

が有用になる。また、必要な場合には救急車の要請をためらってはならない。

AHA (American Heart Association: アメリカ心臓協会) は5年ごとに「心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン」を改訂している。蘇生の手順はG 2010からC (Circulation)-A (Airway) - B (Breathing) に変更されたが、G 2015でもこれが踏襲されている(図2)。



図2

歯科診療所ではどの程度の救急薬剤を準備するべきだろうか。6分間BLSを行って救急隊につなぐことを重視するならば、それほど多様な薬剤を備えておくことは現実的ではないようにも思える。しかしながら18年に日本医療安全調査機構が示した提言に従えば、アナフィラキシーショックに備えた筋肉注射用のアドレナリンを常備しておくことが推奨される。

■ 医療事故調査制度

医療事故調査制度は、医療法に基づき15年から施行された制度である。医療に起因する予期しない死亡事故が起きた場合に、外部機関(=支援団体: 歯科医師会等)と協力して院内調査を行うこと等を定めたものである。調査結果は医療事故調査・支援センターが収集し、分析する。

この制度は、事故の原因を究明し、再発防止につなげることを目指したものであり、事故の責任を追及することが目的ではないことを理解する必要がある。事故の被害者(患者)と医療者の双方の権利を守る制度であると認識されたい。



■ 「か強診」施設基準届出に必要な研修

18年度診療報酬改定で、「かかりつけ歯科医機能強化型歯科診療所（か強診）」の施設基準に係る研修内容の見直しが行われ、「歯科疾患の重症化予防に資する継続管理に関する研修」を修了していることが必要になった。この研修と連動した診療報酬としては、①エナメル質初期う蝕管理加算 ②歯周病安定期治療 ③小児口腔機能管理加算及び口腔機能管理加算 ④総合医療管理加算―等が挙げられる。同施設基準を届け出るには、これに加えて、高齢者の心身の特性及び緊急時対応等の研修を修了している必要がある。

■ 高齢者の心身の特性

高齢者の身体的特徴としては、①予備力の低下 ②内部環境の恒常性機能の低下 ③複数の病気や症状がある ④症状が教科書どおりには現れない ⑤現疾患と関係のない合併症を起こしやすい ⑥感覚器機能の低下―等が挙げられる。有病高齢者の場合、様々な薬を服用していることにも注意を払う必要がある。

不整脈の一つである心房細動は、かつては「致命的なものではない」としてそれほど重要視されていなかったが、心原性脳塞栓症の原因となることから、その危険性についての認識が改められるようになった。そのため心房細動が認められた場合には抗血栓療法が行われる。抗血栓薬としては抗血小板薬であるバイアスピリンや抗凝固薬であるワーファリンが広く知られているが、近年、心房細動患者に対してNOAC（novel oral anti

coagulants：新規経口抗凝固薬）が処方されることが増えていることは認識しておきたい。骨粗鬆症治療薬については、服用しているからといって歯科治療が禁忌になるわけではないが、薬剤関連顎骨壊死を生じた場合には対応に難渋するため、患者やその家族に対して事前に十分な説明をしておくよう心掛ける。

認知症は脳の疾患によって機能低下が生じた状態を指し、多数の高次機能障害から成る一連の症状と定義できる。

認知症には中核症状と周辺症状があり、介護者が対応に苦慮するのは中核症状よりも周辺症状である。近年は周辺症状をBPSD（Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia：行動・心理症状）と呼ぶことが増えている。

認知症はその原因病名によって、▽アルツハイマー型▽レビー小帯型▽脳血管性▽前頭側頭型―等に分類される。アルツハイマー型認知症の特徴として、もの盗られ妄想や易怒性の亢進が挙げられる。レビー小帯型認知症は、パーキンソン症状に加え、リアルな幻視が見えることが大きな特徴である。脳血管性認知症では、夜間せん妄や抑うつ等の特徴が目立つ。前頭側頭型認知症では、脱抑制・反社会的行動等の行動異常が認められることが大きな問題であるが、難病指定されているように治療は困難である。

認知症の診断・検査には様々なものがあるが、少なくとも長谷川式認知症スケール（HDS-R）、MMSE（ミニメンタルステート検査）は知っておきたい。

■ 高齢者の口腔機能管理

「オーラルフレイル」とは、口腔内に現れる虚弱を意味する言葉で、前段階として口腔リテラシーの低下の結果生じた歯周病やう蝕による歯の喪失等があり、それに続いて、①滑舌の低下 ②食べこぼし・むせ ③噛めない食品の増加―等の症状が起きる段階と考えればよい。「口の機能の些細な衰え」と表現してもいいだろう。この段階での歯科の介入が有効な場合が多い。

■ 地域包括ケアシステム

人口ピラミッドの変化により、現在65歳以上1人に対して3人で支える騎馬戦型の社会構造が、2040年には1人に対して1人で支える肩車型になると予測されている。100歳以上の高齢者は7万人を超え、60年には850万人が認知症高齢者になると予測されている。そこで地域包括ケアシステムが非常に重要になる。

地域包括ケアシステム構築に当たっては地域包括支援センターが中心的な役割を果たす。地域包括支援センターには、ケアマネジャー・保健師・社会福祉士等が在籍している。ケアマネジャーはケアプランを作成するという重要な役割を担うが、その守備範囲は介護保険である。保健師は主に集団を対象に健康管理や疾患予防に活動する、言わば地域を診る看護師である。社会福祉士（ソーシャ

ルワーカー）は相談援助の専門職であり、利用者の権利を守るために専門機関につなぐ役割も担う。その他、PT（Physical Therapist：理学療法士）・OT（Occupational Therapist：作業療法士）・ST（Speech-Language-Hearing Therapist：言語聴覚士）等を含めた多職種が連携して地域住民を支援するのが地域包括ケアシステムである。

■ 地域包括ケアに果たす歯科の役割とは

歯科医師は、地域包括ケアシステムの中で専門職として口腔機能改善の担い手となることは当然であるが、児童虐待のように隠れているが重要な問題を発見したり、地域の有識者として医師と医師以外の人間をつなぐ役割を果たしたりすることも大切な役割だ。併せて、歯科医師会の会員として、行政や国民へ提言する機能も極めて重要であることを認識しておきたい。

総合討論

座長：三重県歯科医師会・早川豊治副会長

パネリスト：望月 亮氏（静岡県開業・日本歯科麻酔学会広報委員長）

城 尚子氏（愛知学院大学歯学部麻酔学講座講師・日本歯科麻酔学会地域医療委員）

飯田 務氏（三重県開業・三重県歯科医師会医療管理委員）



Q：歯科治療恐怖症の患者に対して気を付けることは？

望月 安易に治療を開始せず、コミュニケーションをしっかり取ることに尽きる。治療に当たっては、可及的に痛みを与えず、患者の様子を確認しながら少しずつ治療を進めていく。

Q：局所麻酔剤を効かせるコツは？

望月 歯科麻酔の専門家の中でも「効きやすい手技」のコンセンサスは得られていないが、麻酔後5分間待機し、奏功を待つことを推奨する。

Q：外来患者全てにモニタリングを行うのか？

城 バイタルサインの専門家として勤務しているので担当患者は全てモニタリングしている。

飯田 高血圧等、有病者の場合には基本的にモニタリングを行っている。歯科治療時医療管理料も算定できるので、機能の高いモニターを導入しSpO2や血圧、心電図等を記録している。

望月 一日20名患者がいるとして5名くらいは血圧までモニタリングしている。約10名はパルスオキシメーターの装着のみ。義歯の調整等の場合は付けないこともある。

城 待合室に血圧計を置いてスクリーニングすることも有用だ。

大規模災害時の対応及び歯科所見からの身元確認研修／津南警察署で実施

2018年12月16日（日） 津南警察署



12月16日(日)、津南警察署で大規模災害時の対応及び歯科所見からの身元確認研修が開かれた。三重県歯及び三重県警察歯科医会、三重県警の協力の下での実践的な研修としては16年以來2度目となるが、警察施設を使用した研修は全国でも初めて。

三重県歯・田所会長、三重県警察歯科医会・辻会長、三重県警本部刑事部検視官室・須川上席検視官がそれぞれ挨拶に立った後、参加者は二つの班に分かれて研修へ。歯科所見による身元確認訓

練では、経験豊富な熊谷理事と浜瀬理事がインストラクターを務め、模擬遺体等を用いて、デンタルチャートの作成やポータブル機器を用いたX線撮影、生前記録との照合等のデモを実施。参加者は頭蓋骨と下顎骨の突合（咬合の確認）の様子等を興味深そうに見学していた。並行して、兵庫医科大学 歯科口腔外科講座／救急・災害医学講座の門井謙典氏が「JMATに参加する歯科医師のあり方」と題して講演。熊本地震に派遣された兵庫JMATに歯科医師として参加する等、多くの災害現場に立った経験を持つ門井氏は、救急医療と比較した災害医療の特徴を示したうえで、災害関連死を防ぐための保健活動は医療者の使命であると位置付けた。また、JMATの役割は地域医療を支えることであると述べるとともに、災害医療に係る保健所機能の強化にも触れ、大規模災害時には郡市歯科医師会の役割が大きくなると解説。災害支援は通常地域医療の延長にあるという考えを強調して講演を締め括った。

スポーツ歯科PTが初会合／岩手県歯・鈴木常務理事がレクチャー

2018年12月13日（木） 三重県歯科医師会館

12月13日(木)、スポーツ歯科プロジェクトチーム(PT)の初会合が開かれた。このPTは、21年開催予定の「三重とこわか国体・三重とこわか大会」に向けた三重県歯としての取組みを強化す

るため、今年8月の第5回理事会で設置を決めたもので、日本スポーツ協会公認スポーツデンティストの資格を持つ理事者8名(受講中含む)によって構成される。

初会合となるこの日は、まず福森常務理事がPTの目的を示したうえで、その活動内容を具体的に提示（▽口腔と全身の健康づくりに関する研究、普及活動の支援▽スポーツ歯学についての研究、普及活動の支援▽学術研究の発表及び討論のための集会▽行政、学会、教育、研究機関、地域等の関連組織・団体との交流への支援▽リーフレットやマニュアル等の資料作成▽マスメディアを利用した広報活動―等）。三重とこわか国体（救護班）への歯科医師派遣に関する日当の予算化や、現場での多職種（スポーツドクター・スポーツファーマシスト・アスレチックトレーナー等）との連携方法に加え、スポーツデンティストに対するスキルアップ研修会の開催等について意見交換を行っ

た。また、16年に開かれた「希望郷いわて国体」に協力した岩手県歯の鈴木卓哉常務理事を迎え、歯科医師の派遣から医療救護所での歯科医師の役割等について、経験に基づく貴重なレクチャーが行われた。



第6回全国共通がん医科歯科連携講習会

2018年12月16日（日） 三重県歯科医師会館



12月16(日)、第6回全国共通がん医科歯科連携講習会が開かれた。県内では、12年に日歯・国がん（国立がん研究センター）事業としてのがん医科歯科連携講習会を実施。翌年より厚生労働省委託事業に位置付けられた本講習会に移行している。今回は6回目の開催で、医師2名（外科、緩和）、薬剤師1名、歯科医師27名、歯科衛生士10

名の計40名が参加した。

内容は、▽事業の概要と三重県の連携状況▽がん治療総論▽がん手術と口腔ケア▽がん薬物療法を受ける患者の歯科治療・口腔ケア▽頭頸部放射線治療法、放射線化学療法の患者への歯科治療・口腔ケア▽BMA（Bone Modifying Agents）の使用に関連する顎骨壊死と歯科治療・口腔ケア▽がん医療における緩和ケアと歯科治療・口腔ケア▽がん患者における歯科治療の実際（頭頸部放射線治療後の患者における歯科治療事例）―等で、がん治療に必要な幅広い範囲を網羅したもの。

講習会終了後には、全てのカリキュラムを受講した初受講の歯科医師に「修了証」が交付されるとともに、全国のがん連携登録名簿への登録手続きを済ませた。

2018年度

第9回理事会

2018年12月6日(木)

三重県歯科医師会館

December

歯科衛生士需給対策について意見交換

12月6日(木)、18年度第9回理事会が開かれた。田所会長は『日医雑誌』12月号に掲載された藤谷順子氏による「摂食嚥下障害のリハビリテーション医療の可能性」について紹介。摂食嚥下障害が医科でも注目されていることを指摘したうえで、来年2月に日歯が開催する「嚥下機能評価研修会～嚥下内視鏡検査実習～」に羽根副会長を派遣する意向を明らかにした（三重県歯では既に昨年度から医科の協力の下で地域口腔ケアステーション設備整備事業に伴う嚥下内視鏡実習を実施している）。医療管理委員会は歯科衛生士の周知に係る事業展開について協議を求め、よりきめ細かな就業状況の把握を求める声や、雇用主である歯科医療機関の意識改革等が必要だとする意見等が聞かれた。この日の意見交換は次年度事業計画の策定に当たって参考とされる。会合中には、日歯製作の映画『笑顔の向こうに』がモナコ国際映画祭でグランプリに輝いたという朗報ももたらされた。同作品は2月15日(金)から県内でも上映され、歯科衛生士や歯科技工士の認知度向上の一助になることが期待されている。

委員会事業等報告

●社会保障委員会

【事業活動】自主懇談、個別指導、新規指定保険医療機関（歯科）集団指導、特定社保講習会（11/29）【出席会議】社保・国保審査委員会合同協議会（11/22）、同・歯科部会協議結果取りまとめ（11/29）【報告事項】区分C2（新機能・新技術）における医療機器の保険適用（社保連絡No.5）、「診療報酬請求書等の記載要領等について」等の一部改正（再々周知）

●医療管理委員会

【事業活動】郡市顧問税理士連絡協議会（12/6）【出席会議】第4回歯科技工士の養成・確保に関する検討会（11/19）、名古屋国税局管内税務指導者協議会（11/22）【報告事項】植村顧問記事（『三歯会報』12・1月号）、歯科衛生士養成学校に対する三重県歯会長表彰候補者の推薦、19年度歯科助手講習会日程案、歯科相談（7件）【協議事項】19年度事業「歯科衛生士PR広告」

●学術委員会

【事業活動】第2回医科・歯科合同研修会（11/18）【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報（HP）、郡市会学術研修会への助成申請（尾鷲）、日本糖尿病協会登録歯科医制度の更新等、『日歯雑誌』11月号の封入広告

●福祉厚生委員会

【事業活動】第43回睦寿会総会・親睦会（11/23）

●公衆衛生委員会



【事業活動】8020推進月間及び「いい歯の日」街頭啓発（11/8）、四日市歯・学校歯科医研修会

(11/10)、第3回日本子ども虐待防止歯科研究会学術大会(11/11)、第2回公衆衛生委員会、伊勢地方産業安全衛生大会・優良勤労者表彰式(11/15)、桑員地区産業安全衛生大会・緑十字展(11/22)、第13回子育て応援!わくわくフェスタ(11/23)、日本子ども虐待防止学会第24回学術集会おかやま大会(12/1)【出席会議】三重県いじめ防止フォーラム(11/1)、日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会(11/3・4)、健やか親子21全国大会(11/8)、日本子ども虐待防止歯科研究会理事会(11/10)、三重県議会政策担当者会議(11/14)、第61回三重県学校保健安全研究大会(11/15)、第2回三重県における外国人患者受入れ体制のモデル構築事業検討会議(11/20)、日学歯・学校歯科医生涯研修制度18年度専門研修(11/25)、18年度日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議(11/29)、東海口腔衛生学会常任幹事会・幹事会(12/2)【報告事項】第23回三重県歯科保健大会、後期高齢者歯科健診「18年度医科健診・歯科健診受診勧奨業務」報告書、「後期高齢者における歯数と医療費との関係」(『厚生指標』18年11月号掲載/愛知学院大学・嶋崎教授)、フッ化物洗口進捗に関する資料(県行政)、『ママごはん』冬号、17年度がん診療医科歯科連携事業紹介患者記録集計結果、18年度設備整備事業補助金決定者【協議事項】地域において障がい児

その他の報告

1. 障害者歯科センター
2. 18年度都道府県専務理事連絡協議会(11/14)
3. 第27回中規模歯科医師会連合会 紙面会議結果

議題

- 第1号：郡市会長会議の招集並びに附議事項に関する件
- 第2号：入会申請について/富川和哉(津)
- 第3号：互助会入会申請について
- 第4号：互助会給付について(11/1~12/5 申請分)

(者)歯科診療の核となる協力歯科医院の推薦

●広報情報委員会



【事業活動】三重テレビ『とってもワクドキ!』(11/1)、FM三重『はぴはぴ子育て』(放送、収録)、第23回三重県歯科保健大会取材、伊勢新聞「365日のMVP」別刷発送【報告事項】「最新歯科医療実態調査」報告書(再校)、日本顎咬合学会学術大会パンフレット配布【協議事項】三重テレビ「新春テレビスポット」

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況(11/28 現在)、SECOM安否確認訓練(11/13)、18年度大規模津波防災総合訓練(11/3)、災害歯科保健医療体制研修会(日歯、12/1・2)、災害対策本部の解散(日歯)

●日歯委員会報告

【選挙管理委員会】第2回選挙管理委員会(11/6)

協議事項

1. 18年度新入会員講習会について
2. 19年度事業計画について
3. 日歯「嚥下機能評価研修会～嚥下内視鏡検査実習～」(2/3)

2018年度

第5回郡市会長会議

December

2018年12月20日（木）

三重県歯科医師会館

妊婦歯科健診等に係る請願の採択を報告

12月20日(木)、18年度第5回郡市会長会議が開かれた。田所会長は、8020運動30周年記念事業について、13日(木)に都内で開かれた式典及びシンポジウムの模様とともに映画『笑顔の向こうに』がモナコ国際映画祭でグランプリを受賞したことを報告した。稲本専務理事は、先に三重県歯が提出した妊婦歯科健診等に係る請願書がこの日採択されたことを報告。その他、選挙管理委員会で決定された次期会長予備選挙の日程や、新入会員講習会の日程及び新規開業予定者の歯初診施設基準に係る研修の対応について説明した。公衆衛生委員会は三重県によるフッ化物洗口事業推進の進捗状況等について説明。広報情報委員会は今年3月に実施した「最新歯科医療実態調査」の結果を報告した。報告書は冊子にまとめたうえで1月に全会員に配布される。協議では、執行部が示した次年度事業計画の素案について意見が交わされた。郡市会長からの提案では、口腔ケアの担い手についての考え方が質されたのに対し、執行部側は日歯が整理した口腔健康管理（口腔機能管理と口腔衛生管理）と口腔ケアの違いを中心に説明した。また、先に配布された商業施設テナント募集案内に係る経緯についても質され、執行部からの説明に対し、新規開業者の入会を優先した対応を評価する声が上がった一方で、近隣の会員へのよりきめ細やかな配慮を求める意見も示された。

会長報告

8020運動30周年記念事業

1989年に始まった8020運動が30周年を迎えるに当たり、12月13日(木)に東京都内で記念式典とシンポジウム「笑顔の向こうに／人生100年時代、8020運動のこれから」が開かれた。シンポジウムでは厚生労働省の田口歯科保健課長や大阪大学の天野教授ら5名の有識者が講演。口腔健康管理が健康寿命の延伸に貢献することを確認するとともに、オーラルフレイル等の考え方を加えた今後の展望が示された。式典の中では記念事業の一環として日歯が製作した映画『笑顔の向こうに』が第16回モナコ国際映画祭でグランプリを受賞したことも報告された。

日歯・次期会長予備選挙の日程

日歯の次期会長予備選挙の日程が明らかになった。1月に立候補の受付が始まり、既に決

定している選挙人による郵送での投票が行われ2月15日(金)が開票日となる。

19年度与党税制改正大綱

14日に与党の19年度税制改正大綱が決定された。控除対象外消費税問題については、診療報酬の配点方法の精緻化によるばらつきの是正と継続的な調査・検証により対応することとされた。三師会と四病協が求めていた「新たな税制上の措置」は実現しなかったが、日医は「非課税においては医療に係る消費税問題は解決された」との見方を示すとともに、設備投資への支援措置や事業承継税制への配慮についても歓迎する姿勢を示している。

消費税率引上げに伴う診療報酬改定

17日に19年10月実施の消費税率引上げに伴う診療報酬改定率が公表された。診療報酬全体で

は+0.41%。内訳は医科+0.48%、歯科+0.57%、調剤+0.12%。

『日医雑誌』（18年12月）掲載記事

『日医雑誌』12月号に藤谷順子氏による「摂食嚥下障害のリハビリテーション医療の可能性」と題した論文が掲載された。日歯及び日本老年

歯科医学会が提唱している口腔機能低下症やオーラルフレイルと医科における摂食嚥下リハビリテーションの関連についても言及しているので、医科歯科連携推進に臨む際の共通理解として参考にされたい。

一般会務報告

会員数

18年4月1日～12月19日の期間で入会20名（うち法人会員1名）、退会8名。現会員数866名。

県歯・次期会長予備選挙の日程

選挙管理委員会で次期会長予備選挙の日程等が決まった。2月4日(月)告示、3月7日(木)立候補者届出、4月14日(日)投票の予定。

新入会員講習会及び院内感染防止対策講習会

3月3日(日)に18年度新入会員講習会を開催する。対象者は21名。同日、講習会終了後には、歯初診の施設基準に係る院内感染防止対策講習会を開催する。4月1日(月)以降の入会予定者が受講を希望する場合は、郡市会長を通じて申し込むこととする。

障害者歯科センター実績報告

10月診療分：診療日数8日間、件数160件、実日数186日。11月診療分：診療日数8日間、件数159件、実日数181日。

妊婦歯科健診に係る請願の採択について

11月に三重県歯より県議会に対して「母子保健の一環として妊婦歯科健康診査・歯科保健指導を受けられる全県的な環境の整備を求める請願書」を提出した。請願の要旨は、①県内全市町での妊婦を対象とした無料歯科健康診査・歯科保健指導（2回程度）の実施と受診率向上に向けた取組みの推進を図る ②母子保健事業における妊婦健康診査に歯科健康診査の項目を追加するよう国へ意見書を提出するの2点。12月20日(木)に開かれた本会議で採択された。

委員会事業報告

【学術】(蛭川理事)

第2回学術研修会

3月10日(日)に開催予定。講師は大阪府開業の本多正明氏。補綴治療を中心とした講演で、豊富な臨床経験に基づく実践的な咬合・機能回復についての知見が披露されることが期待される。

三重県歯公認スポーツデンティストDVD講習会

3月14日(木)に2回目のDVD講習会を開催する。18年4月22日(日)の第1回学術研修会の内容を供覧する。

各郡市会地区研修会について

12月20日(木)～2月24日(日)の期間、4地区で6件の研修会が予定されている。

19年度郡市会学術研修会助成事業

助成を希望する郡市会は12月31日(月)までに申請書を提出されたい。

【公衆衛生】(福森常務理事)

第23回三重県歯科保健大会の参加者数

11月4日(日)に名張市で開催した。会員の参加者が125名で第5回大会(桑名)と並び過去最高を記録。一般参加者も302名に上り、関係者等も含めて617名に達する等、盛況裏に終了した。各郡市会の協力を感謝したい。

糖尿病と歯周病の関連調査受診者数

事前申込数は1,165名だったが、実際の受診者は801名にとどまった。調査対象者数7,486名に対し参加割合は10.7%。次年度は受診者が

1,000名を超えるように工夫したい。

障がい児(者) 歯科診療協力歯科医院の推薦要請

障害者歯科センターの患者数の増加に伴い、予約状況が逼迫するとともに急患への対応に苦慮している。既に地域の歯科診療所との連携のために「みえ歯ートネット」を立ち上げ登録制度を設けているが、その中からさらに、郡市会ごとに核となる診療所を推薦されたい。

18年度の郡市会公衆衛生関連会議等開催状況

地域口腔ケアステーション連携推進ネットワーク会議が桑員・松阪・伊勢・鳥羽志摩(2回)・伊賀で、同・連携推進伝達講習会が四日市(2回)・伊賀で、モデル地区フッ化物洗口推進会議が松阪で開かれた。また、県歯役員による学校歯科医研修会が桑員・四日市・鈴鹿・津・尾鷲・伊賀で開かれた(予定含む)。

県行政によるフッ化物洗口事業の推進(進捗状況)

三重県の健康づくり課と県教育委員会が、市町におけるフッ化物洗口の拡大に取り組んでいるのは周知のとおりである(16年度第1回郡市会長会議に当時の課長が出席して説明)。17年度の実施施設数は142か所。小学校は15年度に熊野市の2校からスタートし、18年度には同市内で8校まで増加したのに加え、松阪市でも6校で実施されるようになってきている。三重県歯でも毎年岐阜県での先進地視察を行っているが、18年7月には県行政が中心になって新潟県長岡市を視察した。

三重県地域口腔ケアステーション設備整備事業

「嚥下内視鏡」は予定数を下回ったが、「口腔機能向上機器」は多数の申請があり、有効に活用できた。

【社会保障】(前田常務理事)

その他の報告

SECOM安否確認メールアドレス登録状況

12月14日(金)現在、会員857名中765名登録で登録率は89.26%。

SECOM安否確認システム訓練結果(11月13日)

診療報酬請求書記載要領等の一部訂正

高額療養費制度の見直しに伴って必要になった診療報酬請求書「特記事項」欄の記載について、一部レセプトコンピューターでの対応が遅れているため、当面一律に返戻することなく柔軟に対応する。未対応の医療機関は数件となっているため審査委員会より連絡して対応する方針。

医療機器の保険適用(パーマクラウン)

(株)モリタの「パーマクラウン」がC2区分(新機能・新技術)の期中導入として保険適用となった。永久歯用の既製金属冠。必要に応じ活用されたい。

【医療管理】(桑名理事)

18年度第2回医療管理講習会

3月17日(日)に薬剤耐性(AMR)対策をテーマに開催する。講師は国立国際医療研究センターの具芳明氏と日歯の牧野利彦副会長。

医療事故調査制度の現況報告(10・11月)

11月末現在で医療事故報告が累計1,200件、相談件数が累計6,098件、センター調査依頼件数が累計78件。死亡事故等が発生した場合には県歯に報告のうえ、同制度を活用されたい。

19年度歯科助手講習会

これまで4日間の日程で実施してきたが、19年度からは、受講者及び就業している医療機関の負担を軽減するため、従来の内容のまま3日間とする。

【広報情報】(蛭川理事)

最新歯科医療実態調査報告書

18年3月に実施した調査の報告書がまとまった。1月に会員に送付する。

11月13日(火)にSECOM安否確認システム訓練を実施した。対象者859名中、報告者486名(56.57%)、未報告者373名。未登録及び未報告者には郡市会で注意喚起されたい。

協議事項

19年度事業計画について

執行部より19年度事業の素案が示された。執行部内に設置されたスポーツ歯科PTでは、21年度の三重とこわか国体に向けた体制作りを進めていく。三重県歯公認スポーツデンティストのスキルアップ事業等も検討している。後期高齢者歯科健診については健診票を改訂する。医療管理関係では歯科助手講習会の日程見直しその他、歯科衛生士PRポスターの刷新、歯科衛生士就労状況等の調査を実施する。19年度末には診療報酬改定が予定されており、社会保障委員会が中心となって説明会を開催する他、同時期に最新歯科医療実態調査も行う。また、役員改選期に当たるため、8月に県歯及び郡市会の役員の連絡協議会を開催する。

郡市会長からの提案事項について



齋藤会長（南紀）から、介護等の現場で口腔内を清潔に保つことの重要性が認知される一方で、歯科医療専門職以外が実施可能な行為について、その線引きに苦慮している現状が報告された。これに対し、羽根副会長が日歯での用語整理の進捗状況について説明。歯科医療専門職によって行われるものとして口腔機能管理と口腔衛生管理の二つを定義したうえで、簡単な口腔清掃等、本人や家族、多職種協働で実施可能なものを口腔ケアと呼び、専門職は口腔ケアへの支援・指導・提案等を行うとの考え方が取り

まとめられつつあるとのこと。こうした定義も含めて十分に整理したうえで、歯科医療専門職とそれ以外の介護者が、それぞれに可能な役割を十分に果たすという方向性が求められそうだ。その他、施設の状況や行政との連携も含めた各地域の現状についても報告された。



田口会長（伊勢）は、11月に配布された商業施設テナント募集案内に係る経緯について質した。これに対し稲本専務理事は、仲介業者から開設者・管理者が歯科医師会へ入会することを前提とする旨の説明があったと回答。田口会長は、商業施設や医療モール等での開業者が未入会となることを防ぐという点で肯定的な評価を示した。一方、鈴木会長（津）は、今回の件で地元当たる立場も踏まえ、近隣の会員へのよりきめ細やかな配慮が必要な事案だったと指摘した。



（広報情報委員・廣田好昭 記）

2018年度

January

第10回理事会

2019年1月10日(木)

三重県歯科医師会館

スポーツ歯科PT等から報告

1月10日(木)、18年度第10回理事会が開かれた。田所会長は12月21日(金)に厚労省が公表した19年度歯科保健医療関連の予算案の概要について報告。新規事業として「歯科医療提供体制推進等事業」「歯科技工所業務形態改善等調査検証事業」「口腔保健に関する予防強化推進モデル事業」「歯科情報の活用推進事業」等が提案されていることを紹介した。社会保障委員会は『保険診療の手引』正誤表について報告。10日付で県歯ウェブサイト会員ページに掲載され、今後も適宜更新する予定。学術委員会は日歯EシステムがMacの標準ブラウザであるSafariへの対応を完了した旨を報告。より多くの会員が同システムを活用した研修を受けることが期待される。医療管理委員会は19年度歯科助手講習会について、例年より早く1月中にも開催案内を送付することを決定。新たに製作する歯科衛生士PRポスター案も示した。また、公衆衛生委員会からも地域口腔ケアステーションを周知するためのポスター案が示された。12月に開催されたスポーツ歯科PTの初会合についても報告があった。三重県歯公認スポーツデンティストについては3月14日(木)に2回目のDVD講習会を開催する。次年度には21年度の三重とこわか国体等も見据え、公認されたスポーツデンティストを対象にしたスキルアップ研修会も企画する方針。協議では、各委員会から事業実施案が示された。今後さらに検討を加え、3月24日(日)の第17回臨時代議員会に事業計画案として上程する予定だ。

委員会事業等報告

●社会保障委員会



【事業活動】社会保障講習会(伊賀:12/9、亀山:12/16)【報告事項】酸素の購入価格に関する届出、福祉医療給付金制度(三重県内)【社会保障委員連絡】『保険診療の手引』(18年7月版)正誤表

●医療管理委員会

【事業活動】医療管理・福祉厚生合同委員会(12/20)【報告事項】第2回三重県感染症対策支援ネットワーク研修会(2/17)、第2回医療管理講習会(3/17)、歯科衛生士PRポスター(案)、産業廃棄物管理票交付等状況報告書、19年度歯科助手講習会案内、無資格助手のレントゲン撮影に係る新聞報道、歯科相談(1件)

●学術委員会

【報告事項】研修会・講習会、医薬品関連情報(HP)、郡市会学術研修会への助成申請(桑員・四日市・亀山・鳥羽志摩・尾鷲・南紀)、第2回学術研修会(3/10)、スポーツデンティストDVD研修会(3/14)、愛知県歯科医学大会パンフレット、日歯EシステムのSafariへの対応、

嚥下機能評価研修会「嚥下内視鏡検査実習」受講者の決定（日歯）

●福祉厚生委員会

【事業活動】医療管理・福祉厚生合同委員会（12/20）【協議事項】愛知県医療信用組合のチラシ配布（期間限定マイカーローン特別金利チラシ、生命保険付大型ローンチラシ）

●公衆衛生委員会

【事業活動】第6回全国共通がん医科歯科連携講習会（12/16）、地域口腔ケアステーション運営連絡協議会（12/20）【出席会議】みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会第23回世話人会・第22回学術集会（12/8）、18年度第2回三重県在宅医療推進懇話会（12/12）、18年度第2回歯科保健担当者会議（12/19）【報告事項】MIES調査の分析結果、みえ歯ートネット登録歯科医院調査、19・20年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業」推進学校【協議事項】後期高齢者歯科健診の健診票の改訂(案)、19年度後期高齢者歯科健診・健診票及び質問票(案)、地域口腔ケアステーション周知チラシ(案)

●広報情報委員会

【事業活動】三重テレビ「新春テレビスポット」、FM三重『はぴはぴ子育て』（放送、収録）【報告事項】高齢者訪問歯科健診の分析依頼（鈴鹿歯科医師会）

その他の報告

1. 障害者歯科センター
2. 介護給付費等審査委員会（11/26、12/25）
3. 8020運動30周年記念式典・シンポジウム（12/13）

議題

- 第1号：次期会長予備選挙実施要項について
- 第2号：次期役員選挙実施要項について
- 第3号：互助会給付について（12/6～1/9 申請分）

●災害時の対応・体制に関する委員会

【報告事項】SECOM登録状況（12/28 現在）、大規模災害時の対応及び歯科所見からの身元確認研修（12/16）

●スポーツ歯科PT



【報告事項】第1回スポーツ歯科プロジェクト会議（12/13）、第26回三重県スポーツ医・科学セミナー兼三重県スポーツ指導者研修会（1/24）、18年度三重県医師会スポーツ医学研修会（2/3）、三重とこわか国体・三重とこわか大会実行委員会第3回医事・衛生専門委員会（1/30）

●日歯委員会報告

【社会保険委員会】第5回社会保険委員会（1/9）【地域保健委員会】第3回正・副委員長打合せ（12/18）【その他】18年度歯科医療の展開に向けた協議・検証事業第2回実行委員会（12/12）、第5回広報委員会（11/21）

協議事項

- ・ 19年度事業計画について

法務局における自筆証書遺言の保管制度の創設

Q：自筆証書遺言書を法務局において保管する制度ができたようですが、その内容を教えてください。

A：2018年7月6日に「法務局における遺言書の保管等に関する法律」が成立し、同年7月13日に公布され、2020年7月10日から施行されます。

この法律の遺言書とは、民法968条の自筆証書によってした遺言に係る遺言書です。

自筆証書遺言の保管制度は、法務局で遺言書を保管するほか、遺言を書いた人が死亡した後であれば全国の法務局で遺言書の有無や遺言書の内容が確認できるようになります。

1 自筆証書遺言保管の手続き

次の場所を管轄する法務局で保管します。

- (1) 遺言書を書いた人の住所地
- (2) 遺言書を書いた人の本籍地
- (3) 遺言書を書いた人が所有している不動産の所在地

手続きには遺言書のほか、遺言書を書いた人の本人確認書類など所定の書類が必要です。法務局で中身を確認するため、遺言書の封はしません。提出された自筆証書遺言は、法律上の要件を形式的に満たしているかの確認が行われ、原本を保管したうえで画像データとして記録されます。

2 相続開始後の手続き

遺言書を書いた人が死亡して相続が始まった場合は、次のことができます。

- (1) 誰でもできる事項
自分が相続人となっている遺言書の有無の確認
- (2) 相続人など関係者ができる事項
遺言書の原本の閲覧
遺言書の画像データの確認

遺言書の有無の確認と画像データの確認は、全国どこの法務局でも申請ができます。遺言書の原本の閲覧は、遺言書の原本が保管されている法務局で申請します。

遺言書の原本の閲覧や画像データの確認の申請が行われると、法務局から全ての相続人に対して遺言書を保管していることが通知されます。

なお、自筆証書遺言は家庭裁判所で検認手続きを行う必要がありますが、法務局で保管した自筆証書遺言は検認手続きが不要になります。

3 手続きの手数料

次の申請又は請求をする者は、政令で定める手数料を収入印紙で納付します。

- (1) 遺言書の保管の申請をする者
- (2) 遺言書の閲覧を請求する者
- (3) 遺言書情報証明書又は遺言書保管事実証明書の交付を請求する者

2019年度 歯科助手講習会について

2019年度歯科助手講習会を下記日程で開催します（今回より、開催日数を4回から3回へ変更させていただくことになりました）。この講習会は日本歯科医師会歯科助手訓練基準に基づいて実施されるもので、修了した方には、公益社団法人日本歯科医師会の歯科助手資格認定証が交付されます。受講希望者は先日送付した受講票に所定事項を記入のうえ、3月末日までに三重県歯科医師会宛に送付して下さい。

受講料：8,000円（申請料と教本の費用を含む）

- ・受講料は第1回の講習日に受付で納入して下さい。その際に教本をお渡しします。当日は窓口が混雑しますので、お釣りの必要がないようご準備下さい。
- ・遅刻・早退は原則として認めません。
- ・やむをえず欠席した教科については、次年度に当該教科を受講することにより修了が認められます。
- ・受講日には筆記用具を持参して下さい（第3回の実習に持参していただくものについては、第2回の講習日に説明いたします）。

2019年度歯科助手講習会日程

会場：三重県歯科医師会館（三重県津市桜橋2丁目120-2）

第1回 4月21日（日）

- 9：30～11：00 講義：歯学概論／院内感染予防の基礎知識
講師：三重県歯科医師会役員
- 11：00～12：00 講義：保険診療のしくみ～円滑な受付業務のために～
講師：三重県歯科医師会役員
- 13：00～16：00 講義：歯科助手の心得と一般教養
講師：(有)エイチ・エムズコレクション 高橋 恵氏

第2回 5月12日（日）

- 10：00～12：00 講義：歯科診療の実際（1）
講師：三重県歯科医師会役員・委員
- 13：00～15：20 講義：歯科診療の実際（2）
講師：三重県歯科医師会役員・委員

第3回 5月23日（木）

- 9：00～16：00 実習：歯科材料の取扱い／普通救命講習
講師：(株)ジーシー名古屋、津市中消防署

※当日は駐車場が少ないため、公共交通機関をご利用ください。



12月・1月会務日誌

Association Diary

12月

- | | |
|--|--|
| <p>1日 第28回三重NST研究会世話人会・学術集会に大杉副会長出席
日本子ども虐待防止学会第24回学術集会
おかやま大会に羽根副会長、福森常務理事出席</p> <p>1・2日 日本歯科医師会災害歯科保健医療体制研修会に熊谷理事、桑名理事出席</p> <p>2日 18年度東海口腔衛生学会常任幹事会・幹事会が静岡県で開催され羽根副会長出席</p> <p>4日 常務理事会開催</p> <p>6日 第9回理事会、郡市顧問税理士連絡協議会開催</p> <p>8日 みえ摂食嚥下リハビリテーション研究会第23回世話人会・第22回学術集会に福森常務理事出席</p> <p>9日 第1回医療管理講習会開催
伊賀歯科医師会社会保障講習会に大杉副会長、川瀬理事出席</p> <p>10日 三重HIV感染症講演会に桑名理事出席</p> <p>12日 第2回三重県在宅医療推進懇話会に羽根副会長出席
日本歯科医師会18年度歯科医療の展開に向けた協議・検証事業第2回実行委員会に</p> | <p>稲本専務理事出席</p> <p>13日 選挙管理委員会、第1回スポーツ歯科プロジェクト会議開催
8020運動30周年記念式典・シンポジウムに田所会長出席</p> <p>16日 大規模災害時の対応及び歯科所見からの身元確認研修、厚生労働省委託事業第6回全国共通がん医科歯科連携講習会開催
亀山歯科医師会社会保障講習会に大杉副会長、鳴神理事出席</p> <p>17日 第1回みえライフイノベーション総合特区地域協議会及び第1回みえメディカルバレー推進代表者会議に田所会長出席</p> <p>18日 三重県立公衆衛生学院運営委員会に大杉副会長出席</p> <p>19日 第2回歯科保健担当者会議に羽根副会長出席</p> <p>20日 第5回郡市会長会議、地域口腔ケアステーション運営連絡協議会、医療管理・福祉厚生合同委員会開催
第1回三重県医療安全推進協議会に桑名理事出席</p> |
|--|--|

1月

- | | |
|---|---|
| <p>9日 日本歯科医師会第5回社会保険委員会に大杉副会長出席</p> <p>10日 常務理事会、第10回理事会開催</p> <p>16日 健康保険組合連合会三重県連合会事業意見</p> | <p>交換会に福森常務理事出席</p> <p>17日 学校歯科保健先進地視察研修開催
桑名歯科医師会時局講演会に田所会長、稲本専務理事出席</p> |
|---|---|



Mie Dental Association

- 桑員歯科医師会社会保障講習会に大杉副会長、川瀬理事出席
- 桑員歯科医師会学校歯科医研修会に伊東理事出席
- 第5回歯科技工士の養成・確保に関する検討会が東京都で開催され桑名理事出席
- 18日 第71回三重県公衆衛生学会に福森常務理事、伊藤理事出席
- 19日 東海信越地区歯科医師会第2回会長・専務理事連絡協議会が静岡県で開催され田所会長、大杉副会長、早川副会長、羽根副会長、稲本専務理事出席
- 20日 松阪地区歯科医師会新年総会に田所会長、稲本専務理事出席
- 松阪地区歯科医師会社会保障講習会に大杉副会長、浜瀬理事出席
- 24日 第19回三重大学緩和ケアセミナーに福森常務理事出席
- 三重県公衆衛生審議会第2回歯科保健推進部会に福森常務理事、伊東理事出席
- 第26回三重県スポーツ医・科学セミナー兼三重県スポーツ指導者研修会に蛭川理事出席
- 26・27日 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会（医科共通Ⅱ）が東京都で開催され鳴神理事、新理事出席
- 27日 三重県医科・歯科連携推進人材養成事業「第8回医科・歯科連携推進人材養成研修会」に田所会長、大杉副会長、羽根副会長出席
- 三重県医師会トップセミナーに早川副会長、稲本専務理事出席
- 日本スポーツ協会グッドコーチング・スキルアップ研修が愛知県で開催され熊谷理事出席
- 29日 日本歯科医師会第3回予算決算特別委員会に田所会長出席
- 第3回三重県における外国人患者受入れ体制のモデル構築事業検討会議に伊藤理事出席
- 30日 都道府県歯科医師会地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会が東京都で開催され福森常務理事、伊東理事、新理事、伊藤理事出席
- 日本歯科医師会第4回税務・青色申告委員会に太田常務理事出席
- 31日 日本歯科医師会第3回選挙管理委員会に早川副会長出席
- 四日市歯科医師会社会保障講習会に大杉副会長、前田常務理事出席





会員消息 Member's News

本会会員数 (2月1日現在)

正会員第1種 (一般)	696名
正会員第2種 (勤務)	36名
正会員終身	119名
準会員第3種 (法人)	9名
準会員第4種 (直属)	2名
長期の疾病等の会員	2名
計	864名

日歯会員数 64,875名 (12月31日現在)

謹んでおくやみ申し上げます



伊藤一春先生 (四日市)
去る1月3日、お亡くなりになりました。
享年69歳

診療所廃止

山中良哉先生 (四日市)
小川和夫先生 (鈴鹿)
岡本 徹先生 (亀山)



井本誠一先生 (伊勢)
去る1月4日、お亡くなりになりました。
享年99歳

三重県歯科医師会メールマガジンをご登録下さい



三重県歯科医師会では、会員配布物の「E-MAIL配信登録」を行っています。このシステムは登録者ごとに専用のメールアドレスを割り当て、冊子やポスターを除くほとんどの文書をデータ配信するものです。E-MAIL配信登録者には、併せてメールマガジン(メルマガ)も配信されています。メルマガは毎週水曜日に配信され、三重県歯科医師会事業の最新情報や月間スケジュール、ウェブサイトの更新情報、学術関連情報、さらに毎月の歯科関連ニュースをまとめた「News Clip」等をお届けしています。

E-MAIL配信の登録方法は三重県歯公式ウェブサイト会員ページをご参照いただくか、三重県歯科医師会事務局(TEL:059-227-6488)までお問い合わせ下さい。また、一度登録してもパソコンの買替時等にメールソフトでのアカウントの移行が行われていないとメルマガが配信されなくなる場合があります。もし、メルマガが届かなくなっている場合には、ご使用のパソコンの設定をご確認下さい。



告知板

Information

第74回東海4県歯科医師親善ゴルフ大会のご案内

三重県歯科医師会ゴルフクラブ 会長 笠原浩義

早春の候、先生方におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例となっております標記大会を四日市カンツリー倶楽部において、下記の要領で開催します。

四日市カンツリー倶楽部は、1959年に開場され62年に日本プロゴルフ選手権、翌63年と94年には日本オープンゴルフ選手権が開催された伝統と歴史のあるコースです。距離もあり巧みなレイアウトは攻略性に富んでいるため、プロからビギナーまで思い切って打てる豪快さが各所にあり球趣は尽きません。皆様お誘い合わせのうえ、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

記

1. 日 時 2019年5月30日（木）午前8時
OUT・IN同時スタート
2. 会 場 四日市カンツリー倶楽部
〒512-8048 四日市市山城町640番地 Tel：059-337-1111
3. 会 費 参加費 10,000円
4. プレー代 特別コンペ料金 メンバー14,746円、ビジター19,066円
(キャディフィー・カートフィー・限定昼食・パーティー費含む)
*追加分(コース売店等・練習場・プロショップ等)のご利用は各自でご精算下さい。
5. スタイル キャディ付きプレー *ハーフで昼食を摂っていただきます。
6. 競技方法 18ホールストロークプレー ダブルペリア方式 ダブルパーカット
ハンディキャップ上限36 同ネット年長者上位
フロントティ (70歳以上：シニアティ・女性：レディースティ使用可)
*その他、JGA及びローカルルールに準拠
7. 参加資格 三重県歯科医師会会員であること
8. 申 込 先 各郡市歯科医師会 または 鏡 忠明 Fax：059-262-0257
9. 申込締切 2019年4月18日（木）

※ご不明な点や詳細につきましては、所属の郡市歯科医師会へお問い合わせ下さい。



互助会の現況

(18年12月1日～31日)

第1部 (疾病共済)		
入会 1名	退会 1名	累計 716名
収入累計 202,808,903円	{ 繰越 202,808,903円 入金 0円	
支出 900,000円		
残高 201,908,903円	{ 定期 138,000,000円 普通 63,908,903円 国債 0円	

療養給付：0名

死亡給付：1名

第2部 (火災・災害共済)		
入会 1名	退会 1名	累計 722名
収入累計 166,444,028円	{ 繰越 166,444,028円 入金 0円	
支出 0円		
残高 166,444,028円	{ 定期 110,690,000円 普通 55,754,028円	

災害給付：0名

(19年1月1日～31日)

第1部 (疾病共済)		
入会 0名	退会 1名	累計 715名
収入累計 201,908,903円	{ 繰越 201,908,903円 入金 0円	
支出 1,260,000円		
残高 200,648,903円	{ 定期 138,000,000円 普通 62,648,903円 国債 0円	

療養給付：3名

死亡給付：0名

第2部 (火災・災害共済)		
入会 0名	退会 1名	累計 721名
収入累計 166,444,028円	{ 繰越 166,444,028円 入金 0円	
支出 0円		
残高 166,444,028円	{ 定期 110,690,000円 普通 55,754,028円	

災害給付：0名

三重県歯科医師協同組合

購入希望の組合員の方は、当組合宛にお申し込み下さい。

三重県歯科医師協同組合ホームページからオンラインでも購入できます。

歯科経理帳	(12か月分)	950円
収支日計表	(100枚綴)	620円
患者日計表	(100枚綴)	620円
領収書	(100枚綴)	470円
その他、保険診療情報提供文書各種等		

国保組合の現況

2018年10月／11月

保険給付状況

		18年10月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,778	60,610,419	43,344,460
	累計	24,607	352,799,176	249,395,653
療養費	当月分	74		255,266
	累計	605		2,153,771
高額療養費	当月分	27		3,260,134
	累計	203		20,114,315
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	6		2,520,000
	累計	32		13,424,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	4		460,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	1		750
傷病手当金	当月分	8		340,000
	累計	95		3,254,000

		18年11月		
		件数	費用額	保険者負担額
療養給付費	当月分	3,726	57,715,580	41,126,720
	累計	28,333	410,514,756	290,522,373
療養費	当月分	79		339,155
	累計	684		2,492,926
高額療養費	当月分	32		3,965,331
	累計	235		24,079,646
移送費	当月分	—		—
	累計	—		—
出産育児一時金	当月分	8		3,360,000
	累計	40		16,784,000
葬祭費	当月分	—		—
	累計	4		460,000
食事療養標準負担額減額差額	当月分	—		—
	累計	1		750
傷病手当金	当月分	19		716,000
	累計	114		3,970,000

収支状況

		18年度18年11月累計
区分	金額	
歳入合計	1,056,655,887	
歳出合計	557,332,315	
収支差引残高	499,323,572	

		18年度18年12月累計
区分	金額	
歳入合計	1,144,054,744	
歳出合計	652,889,711	
収支差引残高	491,165,033	

被保険者異動状況

		18年12月31日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,736	△ 2	
家族	1,445	△ 2	
計	4,181	△ 4	

		19年1月31日現在	
区分	被保険者数	前月との比較	
組合員	2,703	△ 33	
家族	1,442	△ 3	
計	4,145	△ 36	

編集後記

Editor's Note

私たちの委員会が担当した最新歯科医療実態調査の報告書がまとまりました。改めて目を通すといろいろ興味深く、スタッフの雇用条件や医療安全対策等、自分の診療所の現況と比較検証しながら、じっくりと時間をかけて読み込むつもりです。

今回の調査結果の中で目を引いたことの一つが、過去1年間に訪問診療を行った診療所が半数を超えたことでした。地域口腔ケアステーションの整備等、近年の県歯の取組みが実を結び、地域のニ

ーズに応えられるようになったことが分かります。

私も月に2回ほど、施設への訪問診療に出かけていますが、認知症の方も多く、外来診療とはまた違った対応が求められることを実感します。

訪問診療の普及拡大とともに、今後は質の向上も求められると思います。県歯の様々な研修会も活用しながら、引き続きスタッフを含めた診療所のスキルアップを図っていきたいと考えています。

(広報情報委員・廣田好昭 記)

愛知県医療信用組合は、歯科医師のための「相互扶助」の金融機関です。

昭和37年設立の「歯科医の歯科医による歯科医のための組合」です。

● ご 預 金 ●

- ★市中銀行より利率の高い預金
普通預金、積立預金、定期預金
- ★将来の貯蓄にメリット大 など
- ★キャッシュカードは全国の金融機関並びに大手コンビニATMでも引き出しできます

● ご 融 資 ●

- ★歯科医師会入会金ローン
- ★開業資金
- ★運転資金、設備資金
- ★自動車ローン
- ★後継者の学資ローン など



詳細はホームページを
ご参照ください。

愛知県医療信用組合

検索

<http://www.iryoushin.com/>



愛知県医療信用組合

〒460-0002
名古屋市中区丸の内三丁目5番18号
愛知県歯科医師会館6階

TEL: (052) 962-9569 FAX: (052) 951-8651

こども110番の歯科医院



三重県歯科医師会では、「社会貢献活動の一環」として、三重県警、三重県、三重県教育委員会の協力のもと、日本の将来を担う宝である子どもたちを守るために、2006年6月より「こども110番の歯科医院」制度を導入しました。これは、不審人物につきまといわれたり、声をかけられたりした子どもたちが歯科医院に駆け込んできた場合、子どもを保護し、警察への通報等の対応を行うものです。

私たちは、子どもたちの笑顔を守り、明るい地域社会づくりに少しでも協力していきたいと考えています。

●「こども110番の歯科医院」の皆様へ

三重県歯科医師会では「こども110番の歯科医院 対応マニュアル ― 子供たちを犯罪被害から守るために ―」を作成しています。ご活用下さい。

●●●●●こどもサポート●●●●●

三重県歯科医師会会員の皆様へ

わが国では少子高齢化が進む一方で、乳幼児期、学童期の子どもたちへの虐待が年々増加しています。三重県歯科医師会が2005年度に三重県健康福祉部の協力を得て実施した要保護児童歯科調査結果では、

虐待が疑われる要保護児童においては、う蝕経験者率が有意に高く、う蝕になった歯が処置されている率が有意に低いという結果が出ています。

歯科医療従事者は、乳幼児集団歯科健診や歯科相談、学校歯科健診、歯科診療所等において、日常的に子どもや養育者に接する機会が多く、専門家の立場から虐待の早期発見に関わるべきことが提唱されています。

本会と三重県では8020運動推進特別事業の一環として、子育て支援の観点から「歯科医の立場からの児童虐待防止と子育て支援（児童虐待防止マニュアル）」を作成しています。児童虐待の早期発見・予防の一助となるよう取り組んでいくために、ぜひご活用下さい。



団体定期保険(Bグループ)

三重県歯科医師会グループ保険のご案内

制度の特色

- お手頃な保険料で大きな保障を得られます。
- 病気・災害による死亡を保障します。
- 1年毎に収支計算を行い、剰余金が生じた場合は配当金としてお返しします。(※将来のお支払いをお約束するものではありません。)
- 医師の診査ではなく、健康状態等の告知によるお申込み手続きです。
(※健康状態・保険のご加入状況などによっては、ご契約をお引受できない場合や、保障内容を制限する場合があります。)
(※お申込みにあたっては、「告知に関する重要事項」をご覧ください。)
- 保険期間は1年ですので、ライフスタイルに応じて保障額を見直せます。

保障額と月額保険料(例)

	ご本人			
	死亡保険金額(高度障害保険金額)			
保険年齢	2,500万円	2,000万円	1,500万円	1,000万円
30歳男性	3,425円	2,740円	2,055円	1,370円
40歳男性	4,075円	3,260円	2,445円	1,630円
50歳男性	6,925円	5,540円	4,155円	2,770円
60歳男性	13,400円	10,720円	8,040円	5,360円

* 年齢は平成30年9月1日時点の年齢にて計算し、6か月以下は切り捨て、6か月を超える場合は1歳増しになります。

このチラシは商品の概要を説明したものです。
保障内容の詳細はパンフレットを必ずご覧ください。
また、制度内容等につきましては、下記までお問い合わせください。

■制度に関するお問い合わせ先:

三重県歯科医師協同組合

TEL 059 (227) 6488

〒514-0003 三重県津市桜橋2-120-2

■保険に関するお問い合わせ先:

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社 三重支社

〒514-0004 三重県津市栄町3-115 損保ジャパン日本興亜津ビル2階 TEL 059(223)1401

●委託会社

下記の引受保険会社は、各被保険者の加入保険金額について、それぞれの引受割合(平成31年1月1日現在)に応じて保険契約上の責任を連帯することなく負います。
なお、引受保険会社および引受割合は変更することがあります。

引受保険会社

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社(70%)(事務幹事)
第一生命保険株式会社(30%)

三重県歯科医師会の皆さまへ

医療従事者 (歯科衛生士・歯科技工士) 賠償責任保険のご案内

—賠償責任保険普通保険約款 医療従事者特約条項—



この保険の特長

- ①皆さまが経営する歯科診療所に勤務される医療従事者の方(歯科衛生士・歯科技工士)全員が補償の対象となります。(一部の医療従事者のみを補償の対象とすることはできません。)
- ②過去に退職された医療従事者の方も対象となります。
- ③補償の対象となる医療従事者の方の署名・捺印などが不要です。
- ④医療従事者の方の入れ替わりの手続き(保険期間中途での通知等)が不要です。
- ⑤ご加入いただいた歯科診療所の業務を遂行することによって発生した事故のみお支払いの対象となります。
- ⑥法律上の損害賠償金のほか弁護士費用や訴訟費用を補償します。

三重県歯科医師会会員の
皆様へ

72th
Anniversary



まごころこめて
**快適な
節電計画のご提案**

最新の補助金活用・税制優遇をご案内

補助金事業部では設計・申請・施工を一貫して行い、コストカットし採択率を高めます

8年連続
販売台数 **全国1位**

弊社は2017年度環境対策型エアコン販売台数
で8年連続全国1位を継続しています。
創業72年の実績と経験で、安心をお届けしま
す。

※2017年10月ダイキン工業 全国特約店 第1位

10年保証

今年で15年目を迎えました10年保証
そして2014年2月より、さらなる安
心の15年保証。より長く安心して
エアコンをご利用いただけます。

お客様の声

風当たりも解消され、
電気代も以前と比べ
3分の2となり、かな
り削減できています。

山崎歯科クリニック様



10年保証もあるから、
万が一故障してもす
ぐに対応してもらえ
るのは安心ですね。

兵藤歯科様



HPのトップ画面から406件閲覧できます。動画もWEBで。



DAIKIN お問い合わせは AM9:00~PM6:00

ダイキン工業特工場 業務用エアコンのことなら

フリーダイヤル
0120-130-047 東3冷凍機
当社HP: www.tousanreitouki.com

ZIP-FM77.8

ZIP-FM NOW ON AIR ナレーション：イルカ





SOMPO
ホールディングス
保険の先へ、挑む。

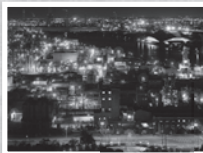
損保ジャパン日本興亜の三重県オリジナル自動車保険

安心・安全のお参りつき

『THE クルマの保険 三重』



赤目四十八滝 (写真提供:赤目四十八滝渓谷保勝会)



四日市工場夜景 (写真提供:四日市観光協会)



伊勢神宮 (写真提供:神宮司庁)



賢島 (写真提供:伊勢志摩国立公園協会)

損保ジャパン日本興亜は、三重県と「地域産業の支援等に関する包括協定」を締結し、三重県民の皆さまの安心・安全なくらしの実現に向け、協働した取り組みを行っています。

特長① 安心補償

地震・噴火・津波
車両全損時一時金特約が付帯されます！

特長② 交通安全

安心・安全のお参りつき！ 全国初！

特長③ 社会貢献

三重県の災害ボランティア活動の
支援に貢献できます！ 全国初！

【引受保険会社】



SOMPO ホールディングス | 保険の先へ、挑む。
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

三重支店 津支社 〒514-0004 三重県津市栄町3-115
損保ジャパン日本興亜ビル6F TEL 059-226-3011
公式ウェブサイト <http://www.sjnk.co.jp/>

- ★本取組みは2016年12月の発売から1年間を実施期間とします。以降はこの商品の普及状況を勘案して実施の継続を検討します。また、予告なく終了することがありますので、あらかじめご了承をお願いします。
- ★「THE クルマの保険 三重」は、「個人用自動車保険」または「一般自動車保険」に「地震・噴火・津波 車両全損時一時金特約」を付帯したプランのペットネームです。
- ★「THE クルマの保険 三重」はご加入者さまの交通安全を祈願する商品ですが、「THE クルマの保険 三重」にご加入された皆さまに事故が発生しないことをお約束するものではありません。
- ★損保ジャパン日本興亜は、特定の政治や宗教団体とは無関係であり、信仰等をお勧めすることは一切ありません。

会員好評受付中!

mint

三重インターネットサービス

ブロードバンドが未来をひろく!

mintはインターネットをトータルにサポートします。

<http://www.mint.or.jp/>

お問い合わせは

MDT 三重データ通信株式会社

TEL : 059-223-1818

E-Mail : mint@mint.or.jp

Thinking ahead. Focused on life.



Spaceline EX

Human Centered Design - 人が中心

変わることなく進化する、それが Spaceline のコンセプトです。
人が中心 という不変のテーマはそのままに、ユニバーサルデザインを根幹とし、
より一層の機能性、操作性、快適性を追求した新たな Spaceline が誕生しました。

Debut

発売

株式会社 モリタ

大阪本社 大阪府吹田市重水町3-33-18
〒564-8650 T 06. 6380 2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15
〒110-8513 T 03. 3834 6161
お問合せ お客様相談センター 歯科医療従事者様専用
T 0800. 222 8020 (フリーコール)

製造販売・製造

株式会社 モリタ製作所

本社工場 京都府京都市伏見区東京南町680
〒612-8533 T 075. 611 2141
久御山工場 京都府久世郡久御山町市田新珠城190
〒613-0022 T 0774. 43 7594
鳥取工場 鳥取県倉吉市谷608
〒682-0954 T 0858. 24 0005

販売名: スペースライン
標準価格: 4,510,000円～(消費税別途) 2017年11月21日現在
一般的名称: 歯科用ユニット
機器の分類: 管理医療機器(クラスII)
特定保守管理医療機器
医療機器認証番号: 226ACBZX00018000

www.dental-plaza.com